



かながわグランドデザインと SDGs

2015 年 9 月に国連で採択された持続可能な開発のための 2030 アジェンダは、開発途上国の開発に関する課題にとどまらず、世界全体の経済、社会及び環境の三側面を不可分のものとして調和させる統合的取組みとして作成されました。そして 2030 アジェンダは先進国と開発途上国がともに取り組むべき国際社会全体の普遍的な目標として採択され、その中に SDGs として 17 のゴール（目標）と 169 のターゲットが掲げられました。

県は、「かながわグランドデザイン基本構想」の基本理念に「いのち輝くマグネット神奈川」を掲げており、その取組みは SDGs の理念と軌を一にするものであることから、県がこれまで取り組んできた施策を進めることで、世界がめざす持続可能な社会の実現にも貢献するものと考えています。

そこで、各プロジェクトと SDGs の関係や SDGs の達成に結び付く県の具体的な取組み例を整理しました。

(抜粋)

SDGs のゴール	主な取組み	県の取組みと SDGs のゴールの関係
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	安全で良質な水の安定供給の推進	<p><u>安全で良質な水の安定供給の推進は、ゴール 6「安全な水とトイレを世界中に」の達成につながります。</u></p> <p>そのほか、水道管路の更新や浄水場等の耐震化などによる自然災害にも強い強靱なインフラの整備は、ゴール 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」につながり、また、<u>森林整備による水源林の保全・再生は森林の回復に結び付くため、ゴール 15「陸の豊かさを守ろう」につながるなど、複数のゴールに関連します。</u></p>
 <p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	次世代に引き継ぐ自然環境の保全・再生	<p>次世代に引き継ぐ自然環境の保全・再生は、ゴール 15「陸の豊かさを守ろう」の達成につながります。</p> <p>そのほか、<u>生物多様性の保全や森林と里地里山の保全と活用の促進は、天然資源の効率的な利用に資するため、ゴール 12「つくる責任つかう責任」につながる</u>とともに、<u>良質な水の確保は、水利用の改善に資するため、ゴール 6「安全な水とトイレを世界中に」につながるなど、複数のゴールに関連します。</u></p>